

保育士試験実技対策講座

平成 27 年度開講要項

ながみねあき保育実技教室

内容

平成 27 年度 実技試験(音楽/言語)対策講座・要項	3
受付開始日時	3
受講対象者	3
費用	3
お支払方法	3
会場	3
ご購入いただく教材	4
必修教材	4
お申込み方法.....	5
キャンセル・変更等について.....	5
お振込みの確認について	6
お願い.....	6
先生は怖くないです(^-^)/	6
開講日程.....	8
受講の準備と持ち物	9
音楽・言語・模擬試験・共通の持ち物	9
音楽の楽譜について.....	9
言語の台本について.....	9
模擬試験の準備	10
講座に関する Q&A	10

Q:「言語 1」と「言語 2」は違うのですか？ 10

Q:音楽はテキストに載っている楽譜でないと受講できないのですか？ 10

Q:言語はテキストに載っている台本でないと受講できないのですか？ 10

Q:受講者の合格率はどのくらいですか？ 11

Q:グループレッスンのメリット・デメリットは？ 11

Q:何回くらい受講したらよいのでしょうか？..... 12

Q:教材を一通り読み、動画も視聴しましたが、講座当日までに上手くできるようになる自信がありません。上手くできるようになるまで受講を遅らせた方がよいのでしょうか？ 12

Q:自分の番が来るまで、ただ座って待っているのですか？..... 12

Q:教材を買わないと受講できないのは何故ですか？自分は保育やピアノ等の経験があるので、教材を買わずに講座だけ受講したいのですが。 13

平成 27 年度 実技試験(音楽/言語)対策講座・要項

当要項をよくお読みいただき、ご同意いただいた上でお申し込みください。ご質問がある場合はまず『講座に関する Q&A』をご確認ください。解決しない場合はホームページの『お問い合わせ』よりメッセージをください。

受付開始日時

平成 27 年 8 月 11 日(火) 夜 21 時～

受講対象者

当講座は、ながみねが制作したテキスト教材・動画教材で学習している方(する予定の方)を対象とした講座です。

模擬試験は、通常の授業を受講する方へのオプションであり、模試だけを受けることはできません。

費用

- 入会金：なし
- 受講料：1 回 8,000 円
- 模擬試験料：1 科目 4,000 円 (1 コマで 1 人 2 回 受験) ※模擬試験のみの受講はできません。

お支払方法

- 事前に銀行振込にてお支払ください。

お申し込みから **3 営業日以内**に、指定口座にお振込みください。お申込み後に返信されるメールに口座が記載されています。上記期間内にお振込みが無い場合、お申込み取消となります。

直前のお申し込みの場合は、当日現金にてお支払ください。

会場

東京バレエ学園・東京駅前教室

東京都中央区八重洲 2-1-5 東京駅前ビル地下 2 階
JR 東京駅 八重洲地下街 26 番出口より直通

ご購入いただく教材

当講座は、インターネット配信の指定教材を購入し、学習している方(する予定の方)が対象です。なお、動画教材は前編/後編がありますが、**前編が受講者必修、後編は任意**です。詳しい説明とご購入は「ホームページ>実技試験の教材・楽譜」のページからお手続きをお願いします。

必修教材

各科目、下記の教材にて予習をしてください(ご購入はインターネット限定)。

音楽

1. テキスト『保育士試験 実技『音楽表現に関する技術』対策講座 平成 27 年度版』
2. 動画『(前編)保育士試験実技『音楽表現に関する技術』対策講座』

言語

3. テキスト『保育士試験 実技『言語表現に関する技術』対策講座 平成 27 年度版』
4. 動画『(前編)保育士試験実技『言語表現に関する技術』対策講座』

お申込み方法

ホームページの開講日程表より、受講ご希望の項目番号をクリックし、お申込みフォームにご記入のうえ送信してください。パソコン・スマホ・タブレット端末をご利用いただけます。

※メール・電話等での受け付けはしておりません

こくちえず（告知's）より、お申込み完了メールが届きます。

メールに記載の銀行口座に、**3営業日**以内に受講料をお振込みください。

※**複数お申込みの際は、合計金額**をお振込みください。
領収書は、初回ご出席時にお渡しします。

お申込み完了となります。

5

キャンセル・変更等について

※**3営業日**以内にお振込みが無い場合は、キャンセルとなります。受講を希望される場合はご連絡ください。

※受付完了メールは、info@kokucheese.com より、お申込み直後に自動返信されます。すぐに受信しない場合は、迷惑メールフォルダをご確認ください。受信していない場合は post@hoiku-piano.com (申込み専用アドレス)までご連絡ください。

※ホームページの制作・維持・管理から講座の企画・教材制作・受付会計業務・授業までの全てを一人で運営していますので、お申込み完了メール後は(入金前でも)変更・キャンセル等には応じることができません。また、受講者の都合で当日欠席された場合は、返金しません。席をキープする目的での仮予約はできません。講師や他の受講希望者に迷惑をかけていると判断された場合、以降の受講をお断りすることがあります。

ご参加が可能な日時であることを、十分ご確認のうえ、お申し込みください。予定が不明な場合「とりあえず予約しておいて後で変更メールをする」という方法には対応できません。予定が明確になってからお申し込みください。変更・キャンセルは例外なくお断りいたします(ただし、異常気象・自然災害等、不測の事態による開講不可能の場合は当方で適切に状況判断し、返金・変更等の対応をします)。

多数の受講者を1人で管理するため、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

お振込みの確認について

お振込みが正常に確認できた場合は、ご連絡をしません。当日のご来場をお待ちしております。連絡がなければ、きちんと入金を確認されているとご判断ください。事務作業効率化のためご協力をお願いします。「入金されましたか？」などの問い合わせには返信いたしかねます。

3営業日を待ってお振込みが確認できない場合、『キャンセルのご連絡』メールが届きます。もし振込みが済んでいるのにこのメールが届いた場合は、お電話にて早急にご連絡ください。

お願い

post@hoiku-piano.com と、info@kokucheese.com からのメールを受信可能に設定しておいてください。メールを受信しない場合は、迷惑メールフォルダもご確認ください。

携帯アドレス(@docomo, ezweb, softbank 等)でセキュリティをおまかせで設定している場合などは、**ほとんど届きません**ので確実に指定受信を設定してください。もしくは、携帯以外のアドレスをご利用ください。

メールで連絡が取れない場合は、電話にて連絡させていただく場合がございます。当方の携帯電話番号は、返信メールに記載されています(受講者のみ)。

ご不明な点は、post@hoiku-piano.com (講座専用)宛てに、メールにてご質問ください。ただし、学習内容に関するご質問や助言の依頼等は、講座で直接お会いする時にお願いします。長文メールをいただいても、返信文を作成する時間がないのでご了承ください。授業時間外にどうしても質問したい場合は、お電話でお願いします。ご質問がたくさんある場合は講座を受講してください。

先生は怖くないです(^-^)/

いろいろとお願いを書きましたが、わたしは特に怖くない(はず)です・笑。試験前の皆さまの不安なお気持ちを十分に理解し、誠心誠意のお付き合いをさせていただいております。しかし、身体はひとつしかないため、わたし独りで対応するには限界があります。その点をご理解いただきたいと思います。これまでたくさんの受講者さまと交流してきた中で、いろいろな出来事がありました。そのため年を追うごとにこんなお願いごとが増えてしまいました。

当要項に同意されたうえで正しく受講される方には、できるかぎりの誠心誠意のお世話をしておりますので、安心してお申し込みください。笑顔で気持ち良く交流するために、ルールを守ってご利用くださいますよう、何卒よろしくお願いいたします。

開講日程

※科目名、時間割等お間違いのないようご注意ください

番号	開講日	時刻	科目	備考
1	9月 13日(日)	10:00-11:10	音楽	定員 5名・8000円
2	//	11:20-13:00	言語 1	//
3	//	13:10-14:50	言語 2	//
4	9月 21日(月祝)	10:00-11:10	音楽	//
5	//	11:20-13:00	言語 1	//
6	//	13:10-14:50	言語 2	//
7	9月 22日(火祝)	10:00-11:10	音楽	//
8	//	11:20-13:00	言語 1	//
9	//	13:10-14:50	言語 2	//
10	9月 23日(水祝)	10:00-11:10	音楽	//
11	//	11:20-13:00	言語 1	//
12	//	13:10-14:50	言語 2	//
13	9月 27日(日)	10:00-11:10	音楽	//
14	//	11:20-13:00	言語 1	//
15	//	13:10-14:50	言語 2	//
16	10月 4日(日)	10:00-11:10	音楽	//
17	//	11:20-13:00	言語	//
18	//	13:10-14:50	言語	//
19	10月 11日(日)	10:00-10:40	音楽①	模擬試験・定員 5名・4000円
20	//	10:50-11:50	言語①	模擬試験・定員 5名・4000円
21	//	12:50-13:30	音楽②	模擬試験・定員 5名・4000円
22	//	13:40-14:40	言語②	模擬試験・定員 5名・4000円
23	//	15:00-15:40	音楽③	模擬試験・定員 5名・4000円
24	//	15:50-16:50	言語③	模擬試験・定員 5名・4000円
25	10月 12日(月祝)	10:00-10:40	音楽①	模擬試験・定員 5名・4000円
26	//	10:50-11:50	言語①	模擬試験・定員 5名・4000円
27	//	12:50-13:30	音楽②	模擬試験・定員 5名・4000円
28	//	13:40-14:40	言語②	模擬試験・定員 5名・4000円
29	//	15:00-15:40	音楽③	模擬試験・定員 5名・4000円
30	//	15:50-16:50	言語③	模擬試験・定員 5名・4000円

受講の準備と持ち物

音楽・言語・模擬試験・共通の持ち物

- 筆記用具
- テキスト（製本版またはPDFのプリントアウト、どちらでも可）
- 楽譜・台本（市販または自作も可）
- 受験番号をメモしてくる(筆記試験と同じ番号です)
- 録画機器...ビデオカメラ、デジカメ、スマホ、タブレット、携帯電話等

動画機能のあるもの、なんでもOKです。みなさんご自身の演奏やお話の表情、それに対するアドバイス等を中心に撮影し持ち帰っていただきます。受講後の復習に大変役立ちます。受講の効果が格段にアップし、ぐんぐん上達します。録音よりも録画の(映像が見られる)ほうがオススメです。

※Webへのアップロードや公開などは厳禁。あくまで、受講者の学習目的限定です。

音楽の楽譜について

- 使用する楽譜は各自で用意してください。
ながみね教材の楽譜でなくてもOKです。その場合はご使用中の楽譜をお持ちください。コピーの場合は、ノートや厚紙に貼って、安定させてください。
- 持参した楽譜でよいか、手直しまたは変更が必要かなどは、参加当日に、各自にアドバイスをいたします。ピアノが初めての方は、ぜひながみね教材の楽譜をご利用ください。試験は想像以上に緊張します。普段できることができなくなったりしますので、普段なら簡単に弾けるというレベルのものを選びましょう。
- 初めて受講する際は、まだ完全に弾き歌いできなくても大丈夫です。
まずは歌を中心に、できるところまで頑張ってきてください。（例：講師伴奏に合わせて笑顔で元気に歌う・うた&片手でゆっくり、など）

言語の台本について

- 使用する台本は各自で用意してください。

ながみね教材の台本をそのまま使用してもOKです。ご自身で作成したものや市販のものでも構いません。持参した台本でよいか、手直し等が必要かなどは、参加当日に、各自にアドバイスもいたしますが、教材で予習しながらできるかぎり準備してきてください。

ながみね教材以外の台本を使用する方は、提出用コピーを1部ご用意ください。わたしも同じ台本を見ながらアドバイスしたいので、ご準備をお願いいたします。

模擬試験の準備

- 受験番号をメモしてきてください。
- 楽譜、台本も忘れずに！ 言語の試験本番は台本持ち込み不可ですが、待ち時間は自由に過ごせますので、持参しましょう。

講座に関する Q&A

講座に関してこれまでにいただいたご質問をもとに、Q&A 形式で解説しました。お問い合わせの前にご一読ください。

10

Q: 「言語 1」と「言語 2」は違うのですか？

いいえ。

時刻が違うだけで内容は一緒です。先着順なので選択は自由ですが、言語のみ受講の方はできれば言語 2 の方にお申込みいただくと、音楽・言語を連続で受講したい方とうまく組み合わせができると思います。

Q: 音楽はテキストに載っている楽譜でないと受講できないのですか？

いいえ。

テキストの楽譜は、ご自身で用意することが難しい初心者の方のために作成したものですので、その他の楽譜で練習している場合はそれをご持参ください。ただし、実技を見せていただいた結果、編曲について修正を提案する場合があります。

Q: 言語はテキストに載っている台本でないと受講できないのですか？

いいえ。

テキストの台本は、模範解答例として作成したものですので自作の台本でももちろん OK です。ただし、実技を見せていただいた結果、台本について修正を提案する場合があります。また自作の場合、テキストの台本作成のポイント解説に沿って作成してください。まったく予習していないとわかる的外れな台本の場合、時間の都合で助言しきれないこともありますのでご了承ください。

※自作の台本で受講する方は、講師に提出用の台本コピーをご用意ください。

Q:受講者の合格率はどのくらいですか？

- 音楽 100%
- 言語 99.9%

※2010年～2014年・講座受講者約350名のうち

- 得点の傾向（当講座の受講者のデータ）

音楽

33点～39点が最も多いです。40点以上は全体の28%程度です。これまでの最高得点は50点満点です。

言語

34点～39点が最も多いです。40点以上は全体の25%程度です。これまでの最高得点は50点満点です。

Q:グループレッソンのメリット・デメリットは？

メリット

自宅と異なり、周囲を気にせず思いきり声を出せる環境や、初対面の人の中で演じる環境は、講座を受講しなければ、自分で用意することができません。独りでは実現できない環境を提供し、さらに適切なアドバイスと本番に備えた予行演習ができる点が、グループ学習のメリットです。さらに、受験者間の交流ができる点も、大きなメリットでしょう。お互いの存在が、練習のモチベーションアップにつながります。

デメリット

1人当たりの実演時間が、個人レッスン(※)と比べれば当然少ないです。しかし、個人と集団では目的が全くちがいますから、比較の対象にはならないと考えます。個人レッスンでは用意できない環境・体験をご用意しています。それは、上記メリットに書いたとおりです。

※今年は講師の都合により個人レッスンは開講しません。何卒ご了承ください。

Q:何回くらい受講したらよいのでしょうか？

- ちょっと確認コース

1回(人前での実技を体験してみる)

※ただし模擬試験のみのお申し込みはできません。試験本番の流れは、通常の授業内で、仕上げとして1度体験する程度となります。

- 標準コース

2回(初回でアドバイス+2回目(模試)で仕上げ)

- 念入りコース

3回(初回:アドバイス、2回目:経過確認、3回目:仕上げ(模試))

このように、ねらいを持って回数を設定してみてもいいでしょうか。もちろん4回以上の受講も自由です。回数に制限はありません。各受講者さまの受講回数に応じて柔軟に授業を展開していきますのでご安心ください。お申し込みは先着順ですので、ご自由に組み合わせてご利用ください。

Q:教材を一通り読み、動画も視聴しましたが、講座当日までに上手くできるようになる自信がありません。上手くできるようになるまで受講を遅らせた方がよいのでしょうか？

いいえ！

その必要は全くありません。むしろ試験直前になってからの初参加ですと、早くから通っている方と比べて完成度に関きが出てしまいます。ひとまず、テキストと動画を一通りご覧になり、解説を頭で理解できた段階で、**なるべく早めに初回を受講してください**。上手にできる必要はありません。とりあえず理解はできて、がんばっているけどまだ上手くないという段階で充分です。試験本番までの練習時間が長いほうが良いので、**早い段階での初回受講をおすすめします**。

Q:自分の番が来るまで、ただ座って待っているのですか？

いいえ。

グループレッスンは『**全員参加**』です。会場に集まって個人レッスンを数分ずつ順番に行うのではありません！

他の受講者を見ていてあげることも皆さまの役割のひとつです。反対に自分の番がきたときは、他の受講者に見てもらいます。人の視線を感じながら演じることが、保育の技術を身に付けるうえで必須なのです。そもそも保育は人前でするものですから。

また、他の受講者に対するアドバイスは自分には関係ないと思わず、全て聞いて、ご自身の実技に活かしてください。自分の番が来るまで、他の受講者の実技とアドバイスを聞きながら、イメージトレーニングをして参加してください。よそ見をしているヒマはありませんよ！それに、他人の番だからと、じーっと黙っている必要もありません。いつでも自由に質問・発言してください。少人数ですから、ワイワイ楽しくやりましょう！

Q:教材を買わないと受講できないのは何故ですか？自分は保育やピアノ等の経験があるので、教材を買わずに講座だけ受講したいのですが。

当講座は先着順ですので、毎回異なるメンバーでの授業となります。すると、すでに複数回受講している方と、初回受講者が同席になることもしばしばです。2回目以降の方は、初回者がいるたびに同じ解説を聴くことになり、それはそれでメリットもあるのですが、できれば解説を聴くなどの自宅でできることは各自で予習してきてもらい、会場では、そこでしかできない学習(人前での実技)に多くの時間とエネルギーを費やすほうが、より有意義な授業になるとの考えで教材での予習を必須としました。

これまでの講座を振り返ると、ピアノやお話の上級者にも初心者と共通してアドバイスすべき点が必ずありました。教材では、経験や技術レベルに関係なく共通に必要な内容を解説しています。「わたしはできる」と思わずに、まずは教材で学習していただきたいと思います。また、もし本当によくできる方であれば、当講座は必要ないかもしれません。たとえば、ステージでの演奏・演劇など人前で演じることに慣れている方や、すでに音楽講師をしてらっしゃる方などには不要な講座かもしれません。

講座の詳細は以上です。お申し込みの決心ができましたか？みんな独りで申し込みます。心配や不安があるのもみんな一緒です。不安そうに訪れても、帰りはみんな笑顔になっています。最後までとことん応援します！どうぞ楽しみにお申し込みくださいね。

皆さまのお越しをお待ちしています(^-^)/

ながみねあき

